

6/16

## 大事な1票であることを意識して 南宇和高校生徒会役員選挙で2年生が模擬選挙を体験



▲緊張した面持ちの生徒たちは、記載台で候補者の氏名を記入し、投票箱に自らの1票を投じました

南宇和高校の新たなリーダーを決める立会演説会が行われた6月16日(金)、南宇和高校体育館に「南宇和高等学校投票区」の投票所が開設され、「南宇和高等学校模擬選挙」の投票が行われました。

2年生を対象に実施された主権者教育講座は、講座を通じて社会に主体的に参加する意識を高めることを目的としており、投票の流れや注意事項などの説明を受けた生徒たちは、実際の投票箱や記載台を用いて投票しました。

投票管理者による開場宣言が行われ、一番目の選挙人として選ばれた生徒が空の投票箱を確認して投票を終えると、2年生全員が緊張感をもって自分の1票を投じました。

7/14

## 『天下泰平』『子孫繁栄』『五穀豊穰』『大漁祈願』を願い ぎおん祭こどもすもう大会で少年力士たちが大奮闘

愛媛  
CATV  
動画

▲疲れを見せず何番も相撲を取る園児と児童の姿に船越集会所は大いに盛り上がりました

船越集会所で「ぎおん祭こどもすもう大会」が4年ぶりに開催され、船越保育園の園児と船越小学校児童とが白熱の取組を見せました。我が子の応援に駆け付けた保護者の中には幼少期にこの大会に出場した方もおり、船越地域で長年にわたり開催されている大事な行事のひとつです。

開会式では、代表児童が「本気の相撲をして地域を盛り上げようと思います」と力強く述べ、まわしを付けた園児と児童はオリジナルの四股名を行司に読み上げられると、元気に返事をして土俵に入り立派な四股を披露しました。はっけよい! の声がかかると、少年力士たちはぐっと歯を食いしばってがちりと組み合い、保護者や地域の方々からは終始熱い声援が送られていました。

8/2

## 日々の訓練成果を最大限に発揮して 全国消防救助技術大会へ出場決定!

愛媛  
CATV  
動画

▲左から池田海斗隊員、高田大輝隊員、山田貴大隊員、菊池宇紘隊員

7月29日(土)に高松市で開催された第51回四国地区消防救助技術指導会のロープブリッジ救出の部において、第1位の成績を収めた隊員4人が、全国大会に出場することを清水まさふみ雅文町長に報告しました。

隣接した建物からロープを伝って進入し、要救助者を救出することを想定したロープブリッジ救出訓練。参加16チームで唯一1分を切る57秒7の好タイム、さらに減点なし(満点400点)を記録し、全国大会への出場を決めました。

池田海斗さんは、「救助訓練では、安全確実が一番大事です。良いタイムを目指すのはもちろんですが、何より満点で入賞することができるよう、チームワークを高めて頑張りたいと思います」と高い意欲を見せました。



愛媛  
CATV  
動画

8/  
2

## 8月は電気使用安全月間 南宇和電気工事組合が高齢者宅の電気安全点検



▲日常生活の中にも潜む電気事故のリスクについて  
組合員から説明を受ける尾崎さん

南宇和電気工事組合・(一財)四国電気保安協会・四国電力送配電(株)の3団体が参加し一本松地域に暮らす高齢者宅6軒を訪問し、配線状況の確認と安全性の向上につながる配線の方法について組合員がアドバイスしました。

毎年8月の電気安全点検は年ごとに旧5カ町村を巡回して実施しており、点検する高齢者宅は同組合と町地域包括支援センターが連携して選定を行っています。

この日点検を受けた尾崎イトミさんは、「築年数が経過している我が家ですが、自分では確認が困難な箇所も点検していただけることはありがたいし心強い」と話し、台所周辺の適切な配線方法などについても丁寧なアドバイスを受けていました。

### 南宇和電気工事組合

理事長:岩村 真典まさのり 副理事長:松田 寛幸ひろゆき

#### 【組合員(加盟事業者)】

- ・(株)岩村電気水道 ・ マツダ電化
- ・(有)永井電器店 ・ メンテナンスサービス山口
- ・(有)山下電機商会 ・ (株)愛南設備 ・ 後藤電器
- ・(有)坂本電工 ・ 田村電気工事店 ・ 中山電気
- ・(株)プロGRESS ・ 南宇和ガス燃料(株)



▲左から 吉良さん、岩村さん、永尾さん  
山口さん、梶原さん、松田さん

8/  
5

## 中国四国農政局食育セミナー開催 子どもを育む海業の未来



愛媛  
CATV  
動画



▲捌き方を教わりながら初めて三枚おろしに挑戦。  
親子で協力して順調に調理を進めました

マダイの三枚おろしゲーム大会などで、ぎょしょくを楽しむ夏休みのイベントが、うみらいく愛南の会場参加とオンライン参加を組み合わせで行われました。

イベントでは、まずアプリケーションでマダイの三枚おろしの速さを競うゲーム大会が行われ、その後、本物のマダイの三枚おろしに包丁を使って挑戦しました。子どもたちが一生懸命おろしたマダイは、鯛カツバーガーに調理して、みんなでおいしくいただきました。

参加者は、家庭で簡単にできる魚の三枚おろし体験を通じて、食べることの楽しさや大切さを学びました。



## 愛南町での任務を終えた救急車がカンボジアで活躍 カンボジアのバットンバン州知事から感謝状の贈呈

カンボジアで地雷処理活動をする高山良二氏<sup>りょうじ</sup>（宇和島市出身）が理事を務める認定NPO法人「国際地雷処理地域復興支援の会」などの協力により、県や市町、企業等が、カンボジア・バットンバン州へ緊急車両およびトラクタを寄贈し、愛南町からは令和4年に任務を終えた救急車が贈られました。

カンボジア・バットンバン州の復興担当顧問も努めている高山氏は、8月8日（火）に愛媛県庁を訪れ、知事および関係者へ寄贈車両に関する報告とともに、清水雅文町長<sup>まさふみ</sup>にカンボジア・バットンバン州知事からの感謝状を伝達しました。



5月にバットンバン州庁舎で行われた車両受贈式の様子

## 地域おこし協力隊 活動日記

### 学びの秋! 南光叶夢センター!

こんにちは! 夢が叶うと書いて叶夢センター<sup>とむ</sup>です。愛南の新鮮な海の幸や、山の幸、その他の「幸」が空から降ってきますように…。今回は、最近の叶夢センターの様子をお届けします。

#### 【小・中学校の校長・教頭へのプレゼン】

キャリア教育の一環で我々叶夢センタースタッフを活用していただく機会を設けてもらおうと、町内の小中学校へプレゼンを行いました。テーマは「愛南町の小中学生に伝えたいこと」です。それぞれの学校の代表者である校長・教頭へのプレゼンはとても緊張する場面でしたが、少しでも多くの生徒が南宇和高校を進学先として選んでもらえるきっかけ作りのためにそれぞれの思いを伝えました。

私たちと一緒に夢を探し、南光叶夢センターで夢を叶えましょう。

#### 【南光叶夢センター開設日変更のお知らせ】

南光叶夢センターの開設日を10月から変更します。10月の2週目から木曜日を開設し、月曜日を休みにします。

木曜日は他の曜日に比べて時間は短いですが、部活動を頑張る生徒もしっかりとサポートしていきます。

#### 【動いて学ぶ、総合的な探究の時間】

南宇和高校で生徒それぞれの興味・関心から、地域への貢献や課題解決を目指す「総合的な探究の時間」に、「プレゼンの作り方」について叶夢センタースタッフが話をする機会をいただきました。伝える内容は「3つ」に絞る、ロジックは「シンプル」に、「聴く人」のことを考える、など。一生懸命調べたこと、実践したことが伝わるように準備しましょう!

生徒の皆さん、いつでも相談に乗りますよ。